

健康と生きがい。シニアライフを考える

# ぜい風

医療法人社団  
社会福祉法人  
松涛会広報誌  
No.43 秋号  
平成27年

松涛会理念

医療・介護・福祉の連携により地域社会に貢献いたします。  
～あなたの喜びが、私の生きがいです～



2015年10月1日  
やすらが丘オープン!!

1階 小規模多機能型居宅介護 やすらが丘



3階



## 目次

### 医療法人ニュース

これからもよろしく!

リハビリテーション研究会

褥瘡と栄養管理の研修を終えて

当院の介護予防への取り組み

回復期リハビリテーション病棟

臨床栄養師認定講座に参加して

### 社会福祉法人ニュース

薬の正しい飲み方

看取りケアの研修について

梅ジャム作り

「フロイデ金比羅」を訪問して

三十周年を迎えるにあたって

二国」城の主

「徘徊模擬訓練in横野

―徘徊者への声かけ訓練―の様子

### トピックス

安倍総理がフロイデ金比羅に来館されました。

やすらが丘がオープンしました。

写真で探す高齢者ホーム「老後に暮らしたい幸せな住まいに

フロイデ金比羅とフロイデ彦島が紹介されました!

### 夏の行事

平家踊り総踊り大会に参加して

海岸清掃

”科研費共同研究チーム”

介護保険制度運用実態調査のため

松涛会来訪

医療法人社団松涛会の基本方針

患者の権利と責務

### 行事のお知らせ

緩和ケア週間

安岡沖洋上風力発電建設反対デモ行進

平成27年松涛会文化祭



これからもよろしく！



法人事務局

教育担当部長 小西 孝子

この度、ふたたび皆様方と一緒に仕事をさせていただく事になりました。

病院の建物は同じですが、行き交う人は違い、顔見知りの方の様子も以前とは異なっているように見えます。

十年間の時の流れは、松涛会の風土を少しずつ変化させているようです。組織を構成している人の集合体がかもし出す雰囲気、成長している証です。

私達は、いろいろな人柄やいろいろな能力、そして、いろいろな場面において折り合いをつけ、各々の関係性を創っています。お互いに相手を認め、その人を必要とした組織でありたいと願っています。

私自身が、皆様方と関わる事により、今以上に教えられ、育ててもらえるような気になり、嬉しく思っています。

## リハビリテーション研究会

リハビリテーション科

作業療法士 長谷 彰



平成27年7月17日に、松涛会リハビリテーション研究会が行われました。今回は11名が発表し、皆堂々と発表され、質疑も活発に行われ、充実した研究会になりました。この研究会には、他職種の多くの方に参加して頂いており、普段のリハビリ内容や、セラピストの視点はどのようなものか等、リハビリテーションというものを知って頂く良い機会だと思えます。来年度も開催する予定ですので、また多くの方の参加を期待しております。

## 褥瘡と栄養管理の研修を終えて

褥瘡対策委員 一柳恵美子

平成27年8月18日地域交流ホームにて13時より約1時間、70名の参加で、今回は「栄養と管理」を内容としてネスレ(株)の佐藤健太先生に講師をお願いしました。

褥瘡発生に関係する栄養素の不足には、①総エネルギー量の不足、②蛋白質・アミノ酸の不足、③脂質の不足、④微量元素・ビタミンの不足、⑤脱水などが挙げられます。

褥瘡発生リスクが高い患者には、評価を行うと同時にエネルギー・蛋白質と水分の投与が重要です。その為にも、NST委員とサポート体制をとりチームで取り組んで行きたいと思えます。



## 当院の介護予防への取り組み

山の内科

理学療法士 末永 庸平

高齢化社会を迎えている近年、年々増加する介護負担が社会問題になっており、「介護予防」の重要性が説かれています。

当院では休診日の毎週水曜午後にはリハビリ室を使用し、下関市福祉部長寿支援課の委託事業として、介護予防教室を開催しています。

対象は、要介護認定を受けていない地域の高齢者です。参加者の皆様は要介護状態の発生をできる限り防ぐため、教室での運動と日頃の運動習慣を身に付け、自身の健康の保持増進に努力されています。皆様の前向きに健康へ取り組む姿勢に、我々リハビリ職員も励まされながら、やりがいを持って仕事に就くことができます。

## 部署からの一言

### 回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟

専任医師 安倍 徹



回復期リハビリテーション病棟では急性期病院での治療が終了しても尚身体機能の障害・低下などを生じている患者様に対して、日常生活動作の回復・向上により再びご自宅で生活できる事を目標に医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・薬剤師・医療相談員等がチームを組み集中的なリハビリテーションを365日行っています。

入退院も多く、また亜急性期で病状の不安定な患者様もいらつしゃって大変忙しい病棟ですが、活気があり明るい病棟です。今後もよりよい医療を提供できるようスタッフ一同頑張っていきたいと思います。

### 臨床栄養師認定講座に参加して

栄養科 西山 愛



この度、臨床栄養師の資格を取得する目的として計100時間の認定講座に参加させて頂きました。栄養ケア・マネジメント制度が導入されて、10年経ちますが、管理栄養士が医療チームの一員として臨床の場で活躍できている病院はまだ多くないのが現状だそうです。しかし、栄養管理は各種疾病治療の根幹であり、重要な役割を果たすことは証明されています。当院栄養科においても、患者様により良い栄養ケアの提供ができるよう、栄養管理体制を見直し、強化していく必要があると感じました。そして、私自身も今回学んだ知識を業務に活かし、後輩たちにも伝えて行きたいと思えます。

## 薬の正しい飲み方

ケアハウスオリーブ

事務長 山本 広幸

7月3日に「パワフル薬局」の福中薬剤師による健康講座を開講しました。事前に入居者の皆さんから、薬の飲み方についての質問をお聞きし、それにお答えする形式で進めました。

薬のことに皆さん関心をもたれており、しっかりとメモを取られていました。事前にお聞きした質問以外にも多くの質問があり、終了後も個別の質問にお答えいただきました。

今回は、栄養士による「食事について」を開講する予定です。皆様どうぞお越しください。



## 看取りケアの研修について

フロイデ金比羅

介護士 後 昌宏

平成27年7月9日、安岡病院緩和ケア病棟より山本妙子師長、井町美江子主任を講師としてお招きして研修を行いました。「看取り」と言うご利用者様の人生の締めくくりに関わる内容だけに関心も高く、フロイデ金比羅だけでなく多くの部署から参加されていました。講師の方々の話は丁寧で分かりやすく、また実際の画像や道具などを用いての研修は、経験の少ない職員にも「状況や状態がイメージしやすく、よく理解できました」と好評でした。今回の研修を活かして、安心して最後まで過ごせる「終の棲家」となれるように日々研鑽していきたいと思っております。



## 梅ジャム作り

脳いきいきデイサービス ねぎ

管理者 古田 恵子

「梅酒がのみたいね。」と皆で作った梅ジュースを飲みながら、エキスの出たシワシワの梅を味見。「それならジャムに」と、急遽おやつ作りをしました。ご利用者様からの指導を受けながら、種を取り除いた実を鍋で根気よくこね、煮詰めました。

「酸っぱい!」と、顔をクシャクシャにしながらも、何度も味見をし、砂糖を投入。艶々の甘酸っぱいジャムの完成です。大胆にクラッカーにのせて、美味しく頂きました。余すところなく、梅を皆で堪能しました。



## 「フロイデ金比羅」を訪問して

高齢社会をよくする下関女性の会(ホーモイ)

大吞 芳子

玄関で壁三面の陶板のレリーフに迎えられ、各階に上つたえられたバラ園や絵画、和紙の調度品などで優雅な気分になりました。

ユニットケアの個室やリビングに、手作りの飾り物がたくさんあり、和やかに生き生きと暮らしておられる様子が感じられました。

斜めに設置された便器(車椅子のために)や扱い易く工夫された引き戸、防音ガラスで採光し易い大きい窓等々、施設面の細かな配慮もあり、「川上から川下まで」介護状態によって「住み替え」ができる多機能複合施設で、地域交流のためにも開放されるというすばらしい施設でした。



## 部署からの一言

### 三十周年を迎えるにあたって

はまゆう苑

事務係長 伊田 和子



はまゆう苑は12月に開設30周年を迎えます。私が入職した当時は入居者もお元気な方が多く、夏祭り、バスハイク、屋外生活等の行事も盛大に行っていました。介護職だけでは手が足りず事務職員、給食職員等、常に職員総出で協力し、仕事に垣根の無いことに大変驚きました。現在では職員数は約十倍以上になりましたが、開設当初の「想い」を引き継ぎ、これからも今までの以上の協働体制を続けていけたらと思います。

### 一国一城の主

はまゆう苑あやぎホームヘルパー

管理者 中野八重子



綾羅木の閑静な住宅街の一角にある当ヘルパーステーションは、地域に密着した施設として十八年目を迎えました。住み慣れた自宅での生活の継続という大きな目標を元に、スタッフは「一国一城の主」ともへ休むことなく訪問を行い、「あなたたちのおかげでここで暮らせてありがたい」と、嬉しいお声を頂く様になってきました。

これからもスタッフ三十名、「笑顔で明るくはつらつと」をモットーに地域との関係を深めていきたいと思っております。



# 「徘徊模擬訓練 in 横野 —徘徊者への声かけ訓練—」の様子

平成27年7月11日 土曜日

横野町初の徘徊模擬訓練は約120名(19グループ)が参加されました。

9:00

はまゆう苑地域交流ホームにて開会式が行われ、その後、下関市安岡・吉見地域包括支援センターより「認知症高齢者の対応」について寸劇やグループワークが行われました。



自治会長

はまゆう苑施設長

安岡交番



地域包括支援センター

10:00

徘徊模擬訓練の説明、各搜索エリアへ移動。  
10:15決められた3つの搜索エリアへそれぞれ移動、各グループは1つのエリア内だけを搜索します。リーダーに配布された徘徊者情報シートを確認しながら3人の徘徊者の搜索、発見、声かけ、本部への通報を行いました。

徘徊役の名演技に悩まされながらも無事全員保護する事ができ、予定通り11:20の時間に終了しました。



11:20

交流ホームにて、カレーを食べながら反省会を行いました。全体反省会では、グループごとの意見を発表し、訓練を振り返り、徘徊者への声かけについて再確認しました。



参加者



参加者



12:55

閉会式も無事終了しました。  
今後も徘徊模擬訓練を通し、徘徊者への声かけ・対応の仕方を地域で理解する事と共に明るいまちづくりのお手伝いできればと思います。  
今回ご協力いただいた多くの搜索参加者、徘徊役、地域の皆様、ありがとうございました。



理事長



常務理事

徘徊模擬訓練in横野 実行委員 中村 慎治

# 安倍総理がフロイデ金比羅に来館されました。

[利用者様お見舞い]



## やすらが丘がオープンしました

安岡病院・はまゆう苑から徒歩5分、国道に沿って「在宅強化型老人保健施設コスモス」、  
「在宅医療・介護保険相談センター」の並びに、4階建ての住宅型有料老人ホーム「やすらが丘」がオープンしました。

是非お立ち寄りください。  
開設にあたりご支援いただきました皆様  
に心より感謝とお礼を申し上げます。



小規模多機能型居宅介護事業所  
やすらが丘 管理者 **堀内 健**

磯の香り豊  
かな191号  
線沿いに平成  
27年10月1日  
小規模多機能

型居宅介護事業所「やすらが丘」が  
開設いたしました。地域に寄り添いそ  
のりらしく生活をして頂ける介護  
サービスを目標に職員一同努めてまい  
りたいと思います。



在宅医療・介護保険相談センター  
**飯田 哲**

1階に小規  
模多機能型居  
宅介護を同時  
開設しました  
ので、登録(定

員29名)していただいた方には24時間  
寄り添った介護をさせていただきます。  
希望される方は、ケアマネと適切なプ  
ランをたて、夜間介護の安心の為、ナ  
イトヘルパーのご利用をお勧めしま  
す。地域の皆様や関係者のおかげで  
開設できたことに感謝いたします。今  
後ともよろしくお願いたします。

写真で探す高齢者ホーム「老後に暮らしたい幸せな住まい」に

# フロイデ金比羅とフロイデ彦島が紹介されました!



※発行元の主婦と生活社に掲載の御協力をいただきました。

## 夏の行事

### 平家踊り総踊り大会に参加して

馬関祭り実行委員会

副実行委員長 木村 圭吾

平成27年8月23日に開催された「第38回馬関祭り 平家踊り総踊り大会」に参加し、総勢202名が総踊りを行いました。去年は約150名での参加でしたので年々規模が大きくなっています。

初めて参加されるスタッフも多く、私を含めて踊りの練習で苦戦しましたが、本番では隊列もきれいにそろって踊る事ができました。残念ながら受賞には至りませんでした。

これほどたくさんの方のスタッフの方と同じ目標を持って参加し、そして成功できた事は職種を超えたコミュニケーション、結束を更に強めることにつながったと思います。

参加したスタッフからは楽しかったとの声も多く、裏方で頑張った努力が報われた気がしました。

最後に当日、沿道で応援していただいた皆様へこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。



### 海岸清掃

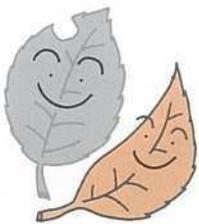
法人本部 事務局 木村 圭吾

平成27年6月14日に地元自治会が毎年開催する横野海岸の清掃に参加しました。

今年も医療法人と社会福祉法人から100名近くのスタッフが参加しました。家族ぐるみで参加してくれるスタッフもいました。地元の方は学生をはじめとして多数参加されていました。

全員がごみ袋一杯になるまで回収していました。中には一部砂に埋もれている大きなゴミもあり、数人がかりで取り除く事もありました。

皆様の頑張りで横野海岸はきれいな海へと戻りました。来年も参加したいと思います。



## ”科研費共同研究チーム“介護保険制度運用実態調査のため松涛会来訪

安岡病院 事務長 松井 利三

去る8月4日、科学研究費助成事業に基づく共同研究チームの二行 10人の来訪を受けました。二行は、研究代表者の横田伸子教授（山口大学経済学部）をはじめ、研究分担者の田中洋子教授（筑波大学人文社会学系）、三山雅子准教授（同志社大学社会学部）、小谷幸准教授（日本大学生産工学部）の4名と、韓国側研究者3名（ソク・ジェウン 翰林大教授、キム・ヒョンヒ 高麗大教授、チェ・ギョンスク ソウル市高齢介護労働者総合支援センター所長）及び通訳（鈴木明）と本研究の協力者であり下関での案内役の鈴木朋絵弁護士、森清珠実社会福祉士の10名です。

同事業は、研究者の自由な発想に基づく研究を格段に発展させることを目的とする文部科学省及び日本学術振興会の事業で、横田教授以下、「世界的に少子高齢化が急激に進展する中、介護制度等の役割は益々その重要性を帯びていると考え、介護保険制度を導入しているドイツ・韓国・日本の制度全般と事業者並びに介護士について比較研究し、その実態と関係性を明らかにして、今後有るべき介護制度や介護の在り方等々を政策提言しよう」とする意図のもと、我が国は、比較的制度全般の運用が他の2カ国より進んでおり、利用者ニーズに込んでいることから、案内役の鈴木弁護士が、それでは松涛会ということでも今般来訪されたものです。

当日は、緩和ケア病棟・わたぼうし・老健コスモス・医療介護相談センター（訪問看護・介護他）・フロイデ金比羅・フロイデ彦島・安岡吉見地域包括支援センター（はまゆう苑の順で、午前中廻る超ハードスケジュール。そしてオリープで昼食を取り、ねぎぼうず研修室で質疑応答を含め意見交換を行いました。

質問内容は、介護施設の運営状況と課題、介護職員の業務内容、更には地域包括支援センターの業務内容と地域包括ケアシステム構築への課題等々、事前に用意していた26項目。更には質疑応答での随時の質問など、多岐に且つ細かい事項までに亘る意見交換であり、研究チームは、松涛会の現場から、「将来あるべき介護サービスシステムとは」という命題のヒントを得ようと時間の経過も忘れ必死の様相でした。

当然も、平素の運営状況を具体的に解り易くプレゼンすることの難しさと諸課題への対応等の確認。更には、先方に対し、「あなたの欲びが私の生きがいです」という理念の実践の一端が、又、松涛会グループ内での地域包括ケアシステム実践の一端が理解できたのではと感じる有意義な来訪であり、意見交換会でありました。



## 医療法人社団松涛会の基本方針

1

医療・看護・介護  
の質の向上と  
安心・安全の  
確保に努めます。

2

心温まる  
癒しの環境を  
創造致します。

3

資産の有効的・  
効率的な活用により  
健全な運営を  
行います。

## 患者の権利と責務

松涛会安岡病院は、患者中心の医療を実践するためには、患者の基本的権利と責務を明確にすることが大切であると考え、ここに「患者の権利と責務」を宣言いたします。

- 1 個人の尊厳
- 2 平等で最良の医療を受ける権利
- 3 知る権利、自己決定権
- 4 情報に関する権利
- 5 プライバシーの権利
- 6 医療に協力する責務



# 行事のお知らせ

## 緩和ケア週間

「世界ホスピス緩和ケアデー」を最終日とした10月4日～10日が「ホスピス緩和ケア週間」になります。安岡病院では、講演会を開催します。



**日時** 10月3日(土) 13:30～16:00

**場所** 安岡病院 地域交流ホーム

**演題** 「ご家族にとってのホスピス緩和ケア」  
緩和ケアと緩和ケア病棟・むくみの緩和ケア  
(リンパ浮腫について)

講演会終了後に緩和ケア病棟の見学と、ホスピスコンサート&ティータイムを予定しております。

## 安岡沖洋上風力発電建設反対デモ行進

**日時** 10月4日(日) 13:30～15:00(雨天決行)

**場所** 海峡ゆめ広場(下関市豊前田町3丁目)

風力発電建設については多くの住民、地元の病院や連合自治会、漁業者、商工会なども反対しています。自分のために、未来の子どもたちのために、一緒に歩きませんか。



反対署名は**78,000筆**を超えました。(平成27年9月1日現在)

## 平成27年度 松涛会文化祭



職員一同お待ちしております。是非お立ち寄りください。

**日時** 10月24日(土) 10:00～14:45

**場所** 安岡病院、はまゆう苑他

(下関市横野町3-16-35)

**演題** 演芸会(下関市立大学吹奏楽部の演奏等)、健康相談コーナー、模擬店、バザー、作品展示

## スタッフ募集 「医療法人社団 松涛会」「社会福祉法人 松涛会」では、新しい看護・介護職を募集しています。

- ★患者様や利用者様、ご家族に喜んでもらえる仕事がしたい!
- ★さまざまな現場で、医療・介護のスキルを磨きたい!
- ★笑顔で仕事がしたい!

そんなあなたをお待ちしています。

■採用情報は  
職業安定所もしくは、下のホームページよりご応募ください。  
[医療法人の求人ホームページアドレス]  
<http://www.syoutoukai.or.jp/recruits/>  
[社会福祉法人の求人ホームページアドレス]  
<http://www.syoutoukai.or.jp/staff/>

■内容詳細等に関しましては、  
医療法人社団 松涛会 安岡病院  
☎083-258-3711 担当/人事課  
社会福祉法人 松涛会 はまゆう苑  
☎083-258-3800 担当/法人事務局

やすらが丘スタッフも随時募集中です!